



1月のえんだより

～ あけましておめでとうございます ～

2026年1月1日 十和田めぐみ保育園長



新しい年がスタートし、子どもたちの元気な声が戻ってきました。静かな園が一気に華やいています。
お正月休みは、ご家族やご親戚など、皆様お揃いで新しい年を迎えられたことと思います。子どもたちからは、「おじいちゃん、おばあちゃんの家に行ったよ」「お年玉をもらった」「お餅を食べたよ」など、お正月の楽しいお話をたくさん聞かせてもらいました。今年も健康で過ごせますように、そして皆様にとって良い年となりますよう願っています。

さて、十和田めぐみ保育園では、年明けの保育始めに、職員が和装で子どもたちを出迎え、昔遊び(かるた・すごろく・こま回し・羽根つき・福笑いなど)で、お正月ならではの雰囲気大切にしています。お正月遊びを通して、日本の風情や伝統に親しむとともに、異年齢で関わりながら、遊び方やルール、勝敗の面白さを楽しみたいと考えています。ぜひこの機会に、ご家庭でも楽しんでいただければと思います。

今年の冬は雪の少ないスタートとなり、子どもたちも「ゆき、ふってほしい!!」とつぶやいています。

昨年末の12月27日に雪が降った際には、子どもたちは大喜びで外へ飛び出していました。雪の感触を楽しんだり、異年齢児同士でそりに乗せ合ったり、雪合戦をしたり雪山に登ったりするなど、冬ならではの遊びを思いきり楽しむ姿が見られました。

これからも雪の降る日を見逃さず、積極的に戸外に出て雪遊びを楽しみながら、寒さに負けない体づくりを意識し、この時期にしかできない貴重な経験を大切にしていきたいと思います。

新しい年も、子どもたち一人ひとりの成長を支えられるよう、職員一同心を新たに保育に取り組んでまいります。

どうぞ今年一年も、よろしくお願いいたします。



1月は多文化理解(マルチカルチャー)の月です

多文化理解の基礎は、自国の文化を知り、親しむことです(大きくなった時に誇りに思えるように!)。お出かけしてきたところや、行ってみたいところなど、地域の特性、食べ物や名所など、まずは日本の文化に触れていきます。そして、幸い身近に外国出身の方がいて園に来てくださるので、ロシア、フランスなどの文化に楽しく触れてみます。また、子どもたちが興味ある国についてもいろいろ調べてみたいと思います。ぜひこの機会に、ご家庭でも地図を広げたり、また、出かけたいところや出かけて来たところなどを話題にして、一緒に楽しんでみましょう!! お家の壁に、日本地図や世界地図を貼ってあげると、興味も増しますね!!



今月の予定



5日(月) 保育始め(お正月遊びを楽しもう)

※この日は和装で日本の文化(お正月遊び)を楽しみます。

8日(木) ロシアデー

※ユーリヤ先生の妹さんのマーシャさんが来てくださいます

10日(土) 育児講座(ロシア料理)

14日(水) お誕生会(フランスデー)

※おやつはフランスのお菓子「ガレット・デ・ロワ」

19日(月) レイン先生(うぐいす)

20日(火) レイン先生(ひばり)

避難訓練



23日(金) シャンタル先生(うぐいす)



28日(火) こま回し大会



お知らせ

★ガレット・デ・ロワってなに?



1月のお楽しみの一つが、フランスの行事「レピファニー」です。この日に食べるのが、「王様のケーキ」という意味の「ガレット・デ・ロワ」。最近是有名パティシエがこぞって売り出しています。園ではお料理の先生が毎年手作りしていますよ。アーモンドクリームをパイ生地で包んだ美味しい焼き菓子です。フェーヴという玩具が入っていた子は王様(王女様)になり、好きなお相手を選ぶという習慣があるそうなので、園でもやってみています。

★駐車場の注意、お願い★

雪が予想されると、翌朝の除雪のために、園庭の中央入り口の柵を開けて帰ります。17時に開けることにしていますので、夕方のお迎えの際は、お子様が一人でそこから出入りしないよう、事故等に十分にお気をつけ下さい。

また、駐車場のラインが見えにくくなるため、駐車できる台数が減ります。お迎えに時間がかかる場合は川側の第三駐車場に車をお停めください。ご不便をおかけしますがご協力お願いいたします。



この時期、体調不良のため外には出ずに室内で過ごさせて欲しいという依頼があります。体調に合わせた保育に努めていますが、集団なので個別の対応が難しいことがあります。職員配置などの状況によっては、他の年齢のクラスで過ごして待つしかないこともあるのですが、これだと実際は感染の危険を他クラスに広げることもなります。外に出られない子の人数が多ければ、クラス全体で外遊びを断念しなければならないこともあります。できるだけ体調を整えてからの登園をお願いします。また、寒くて出たくない子もいます。暖かい肌着や襟付きの服、暖かいジャンパー、手袋、帽子等をお願いいたします。ご理解の程、よろしくお願いいたします。

おゆうぎ会(12月7日)

今年のおゆうぎ会は、感染症が流行する中ではありましたが、保護者の皆さまのご理解とご協力のおかげで、無事に開催することができました。子どもたちはこの日をとても楽しみにしており、たくさんの方にお越しいただき、拍手と温かい応援、本当にありがとうございました。

私たちは、おゆうぎ会当日がゴールではなく、そこに至るまでの過程を大切にしています。日々の練習の中で、子どもたちはそれぞれに楽しみ方を見つけ、練習以外の時間にもステージに上がって踊ったり、表現を楽しんだりする姿が見られました。

本番では、自信をもって踊る子もいれば、緊張して思うように動けなかった子もいましたが、その一つひとつが大切な成長の姿だと感じています。

おゆうぎ会が終わった後も、子どもたちの中にはまだまだ余韻が残っており、ステージに上っては「せんせい、曲かけて～！」と楽しんでいましたよ。

鱈をおろす(12月12日)

この日のメニューは「たらのじゃっば汁」。いつもお魚を納品してくださる「三共魚屋」さんが来て、子どもたちの目の前で鱈を三枚におろす様子を見せていただきました。鱈が登場すると、普段見ることのない1匹そのままの姿や、切り落とした頭や内臓もじっくりと見せて貰い子どもたちは釘付けでした。

鱈の口元についている髭のようなものを見て「これはなに？」と、子どもたちから興味津々なつぶやきが聞こえてきました。

あっというまに三枚におろされ、三共魚屋さんの手際の良さに、「もうできたの」「はいね～」などと、歓声も上がっていましたよ。

このような体験を通して、私たちは、食べ物がどこからきて、どのように食卓に届くのかを、子どもたちなりに感じることを大切にしています。「命をいただいている」ということを、難しい言葉で伝えるのではなく、見て、知って、触れる中で、自然と食への感謝の気持ちが育つことを願っています。

可愛いつぶやき

「しもばしら」

ある日の朝の自由遊びの時間。大きいクラスの子どもたちがひろばで遊んでいると、「先生、こっちに来てー!!」と元気な声が聞こえてきました。行ってみると、年長児を中心に、年中・年少児も集まり、夢中になって土を掘り返していました。

「しもばしらがあるよ!」という年長児の一声に、子どもたちが次々と集まってきました。その言葉を聞いた年少児さんたちも、「しもばしらだよ」と、覚えた言葉を口にしながら、嬉しそうに土を掘っていました。年少児さんはとにかく掘るのに対し、年長児さんたちは霜柱が折れないようにそっと、できるだけ大きいものをと掘り起こし大切そうに集めていきました。集めた霜柱を入れ物に並べながら、年長の男の子が「太陽に当てて見ると、光ってきれいに見えるんだよ」と教えてくれました。陽の光を受けてキラキラと輝く霜柱を見て隣にいた年長の女の子が「宝石みたいだね」と、話していました。冬の朝ならではの自然の不思議に触れ、年齢の違う子どもたちが同じ発見を共有し、言葉や気持ちを分かち合う、心あたたまるひとときでした。

お馬とサンタがやってきた!!(12月18日)

この日、子どもたちが戸外遊びを楽しんでいると、向こうからトナカイならぬお馬と人のサンタさんが遊びに来てくれました。来てくださったのは、十和田乗馬倶楽部の一戸さんたちと、イザム君、ランマル君、ラン君の3頭です。急なサプライズに子どもたちは驚きながらも大喜びでした。お馬さんたちは素敵なプレゼントを運んできてくれ、嬉しそうにプレゼントを受け取っていましたよ。間近で見る馬の大きな体と表情に、少しドキドキしながらも、目を輝かせてみていた子どもたちの姿が印象的でした。にんじんやりんごをあげる体験もし、馬のぬくもりや息づかいを感じながらの貴重な体験となりました。

年長児さんは乗馬体験もさせて貰いました。乗り心地をきくと、「揺れて、ちょっと怖かった」「毛が気持ちよかった」「可愛かった」などと、感想を言っていました。素敵なクリスマスプレゼントになりました。十和田乗馬倶楽部様、ありがとうございました!



もちつき会(12月27日)

うぐいすさんたちが田んぼプロジェクトで苗から育て、刈り取りや脱穀を行ったもち米を使って、もちつきをしました。

はじめにお正月のお話や、みんなで育てた稲の思い出を振り返りました。餅つきが始まると、蒸し上がったもち米の良い香りに「おいしそう」「早く食べたい」と、子どもたちの声が聞こえてきました。

泉山さんの、力強い餅つきに合わせて「よいしょ!よいしょ!」と、ひよこさんやかなりやさんたちも声をそろえて応援してくれました。年長さんから順番に重い杵を持ち上げて餅つき体験をしました。年長児はお供え餅作りや、しめ縄作りにも挑戦し、稲や藁が昔の暮らしに大切に使われてきたことを知る良い機会となりました。

南さんの手作りおもちゃで遊ぼう

八戸学院野辺地西高等学校の講師、南 豊先生が来園し、手作りの UFO キャッチャーを持ってきてくださいました。使い方を子どもたちに伝え、さっそく年長児さんたちが遊び方を考え、「1回10円」と決めて、順番を守りながら楽しく遊んでいました。置かれているテニスボールを掴むために、上下、右左、前後、さらに掴む、離すと、工程が多いのですが、子どもたちは賢いですね、直ぐに使い方をマスターして遊びこなしていましたよ。

また別の日には、「空飛ぶタヌキ?キツネ?ブタ?」と、赤いキツネや緑のタヌキのカップ麺の容器を使ったサイエンスショーを見せてくださいました。宙に浮かぶ様子に、子どもたちは「どうして浮くの?」「おもしろい!」などと目を輝かせ、不思議に思う気持ちを膨らませていました。

掃除機の仕組みは少し難しい内容でしたが、洗濯機の排水ホースを使って、遠心力によってごみが吸い込まれる様子を実際に見せてもらいました。目の前で起こる現象に、子どもたちはもちろん、職員も「なるほど!」と驚きと不思議を感じ、夢中になって見入っていましたよ。身近な物を使った体験はとても楽しく、学びのある時間となりました。遊びを通して、考える楽しさや驚きの気持ちを大切にしていきたいと思っています。

